

# 令和4年度 筑西市立下館西中学校グランドデザイン

## いばらき教育プラン

## 茨城県の教育目標

## 学校教育指導方針



### カリキュラム・マネジメントの視点

- ・何ができるようにするか ・何を学ぶか
- ・どのように学ぶか
- ・生徒一人一人の発達をどのように支援するか
- ・何が身に付いたか ・実施するために何が必要か

## 筑西市の学校教育目標

- ・自ら学び自ら考え確かな学力を身につける
- ・思いやりのある豊かな人間性をつちかう
- ・たくましく心身ともに健康な体をつくる



- ☆ 報告・連絡・相談・確認・記録
- ☆ RPDCAサイクル

## 学校経営の基調

教職員一人一人の専門性と教育に対する情熱や使命感、生徒・保護者・地域との信頼関係を基盤に、魅力ある学校づくりを推進し、知・徳・体のバランスのとれた生徒の育成を図る。

## 学校教育目標

高い志と思いやりの心をもつ、たくましい生徒の育成

### めざす学校像

- ◎ 生徒一人一人のよさを大切にできる学校
- ◎ 信頼される学校
- ◎ きれいで、明るい学校

### めざす生徒像

- ◎ 本気で学ぶ生徒
- ◎ 認め合い高め合う生徒
- ◎ 健やかで安全な生活を実践する生徒

### めざす教師像

- ◎ 生徒の話をよく聞き、ともに考える教師
- ◎ 生徒を認め、ほめ、励ます教師
- ◎ 心身ともに健康で、明るい教師

## 本年度の学校経営方針

- ◆ 全職員が協働して、「魅力ある学校」づくりに取り組みながら、生徒の居場所づくり・絆づくりを全力で支援する。
- ◆ 地域とともにある学校として、「生徒一人一人のよさを大切にできる学校」づくりを通して、生徒、保護、地域に「信頼される学校」づくりを推進する。
- ◆ 各プロジェクトによる取組を充実させ、学びの連続性に基づいた西中学区小中一貫教育を実現する。

## 魅力ある学校づくりの推進（互いのよさがこだまする・勢いある学校）

### 学校組織目標

- 主体的・対話的で深い学びの視点での授業改善を通して、確かな学力の向上を図る。
- 教職員一人一人の創意工夫を生かして、生徒の居場所となる温かい学級・学校づくりを進める。

#### （知）本気で学ぶ生徒

- ◎ **基本的な学習習慣の確立**
  - ・学習習慣を身に付け、主体的に学習に取り組む態度を養う。
  - ・「学習の手引き」や「仁志ノート」を活用し、自ら学ぶ態度を養う。
  - ・読書活動を推進し、感性を磨き、豊かな表現力・創造力を育む。
- ◎ **個別最適な学びと協働的・探究的な学びによる学習指導の充実**
  - ・対話的・協働的な学びを通して、理解や考えを深め、広げる授業づくり。（協働的・探究的な学びのある授業）
  - ・指導方法や指導体制の工夫改善により誰一人取り残すことのない指導の充実。（個別最適な学びの充実）
  - ・ICTの効果的な活用や学習形態を工夫して、主体的な学習を促す指導の推進。（1人1台端末環境を生かした取組）
  - ・ユニバーサルデザインの視点に立った授業実践に努める。（基礎的な知識・技能の確実な習得）
- ◎ **将来の生き方に夢と希望をもたせるキャリア教育の推進**
  - ・キャリア教育を通して、一人一人の社会的、職業的自立に向けた能力や態度の育成。

#### 〈数値目標〉

- ・授業がよく分かる (80%)
- ・学力診断のためのテスト (県平均+2点)
- ・自分にはよいところがある (85%)
- ・将来の夢や目標をもっている (85%)

#### （徳）認め合い高め合う生徒

- ◎ **基本的生活習慣の確立**
  - ・「仁志」の5つの行動目標の達成を通して、規範意識の向上を図る。
  - ・学びの連続性を高めるために、小中一貫教育による共通指導の推進を図る。
- ◎ **思いやりと豊かな心を育む教育の推進**
  - ・学級会活動等のコミュニケーション活動を充実させ、よりよい人間関係を基盤とした学級づくりに取り組む。
  - ・生徒一人一人の役割が明確であるなど、全ての生徒が成就感や達成感を味わうことができる学校行事づくりを進める。
  - ・学校生活上の諸問題を解決するための取組の充実を図る。（いじめ防止の取組等）
  - ・「考え、議論する道徳」の授業を核として道徳教育の充実を図る。
- ◎ **積極的な生徒指導の推進**
  - ・信頼関係を基盤とした生徒指導の充実を図る。
  - ・生徒指導体制の充実。（状況把握、適切な指導・支援、初期対応の充実）
  - ・いじめ、不登校の未然防止と早期解決に努める。（報連相確記）

#### 〈数値目標〉

- ・学校が楽しい (80%)
- ・みんなで何かをするのは楽しい (85%)
- ・目を見て大きな声であいさつする (80%)
- ・相手の立場になって考える (85%)
- ・不登校出現率(欠席30日以上) (1.3%以下)

#### （体）健やかで安全な生活を実践する生徒

- ◎ **健康・安全な生活習慣の定着**
  - ・新しい生活様式の実践に努め、新型コロナウイルス感染症対策の徹底を図る。
  - ・自主的な健康管理の習慣形成と進んで体を鍛える態度の育成に努める。
  - ・食に関する指導を通して、食に関する知識と望ましい食習慣を形成する。
  - ・安全教育や防災教育を推進し、自分の命は自分で守ることができるようにする。
- ◎ **部活動の充実**
  - ・人間形成を第一の目的とし、切磋琢磨することを通して、健康な体と目標に向かう強い心を育成する。
  - ・技能の向上と同時に礼節を重んじ、部員同士の豊かな人間関係の構築に努める。
  - ・事故の未然防止と適切な運営に努め、生徒が安心して自主的、自発的に練習に取り組める環境を作る。
  - ・下館西中部活動運営方針に則った適切な運営に努める。

#### 〈数値目標〉

- ・早寝早起き朝ごはん (90%)
- ・ヘルメット、安全たすきを着用する (100%)
- ・交通事故件数 (0件)
- ・部活に意欲的に取り組んでいる (85%)
- ・部員同士が仲良く活動できている (85%)

## 仁志

### 5つの行動目標

- 時間（時刻や時間を守る）
- あいさつ（元気にあいさつ）
- 服装（中学生らしい身なり）
- 清掃（無言清掃・見つけ清掃）
- 言葉づかい（相手のことを考えた話し方）

## 教職員の意識改革と資質向上、家庭・地域との連携・協働

- 働き方改革（見直し・改善・縮減、1ヶ月の超過在校等時間70時間以上0人）
- 風通しのよい職場（相互承認・相互理解 → 連携・協働）
- 常に研究と修養に努め、教職員一人一人の資質・能力の向上と使命感の確立に努める。（授業力・学級経営力・生徒指導力の向上）
- 学校評価の充実を努め、学校運営の改善発展をめざす。○法令、社会規範、ルール、マナー等の遵守に努め、コンプライアンスを確保する。
- 家庭・地域との連携・協働を図るとともに、地域・学校共同活動の充実を努める。○警察、青少年相談員等の関係機関との連携強化に努める。